

柱2 必要な人に届く生涯学習

柱2 必要な人に届く生涯学習	<<取組方針>> ★より効果的な広報手段について再考する ★現在、生涯学習に関心や関わりを持たない方に対しても新たに関心を持っていただく「きっかけ」となる魅力的なイベントや情報発信などを工夫する	【目標(2020年度末)】
	① 区役所の「生涯学習データベース」化と効率的・効果的な情報発信	
	<<2018年12月以降の取り組み実績>> 【区広報誌「よどマガ!」、ホームページ】 ・生涯学習の魅力や新着情報等を積極的に発信(随時) ・「生涯学習ルーム」の特集記事を掲載(「よどマガ!」令和2年2月号) 【「生涯学習情報コーナー(区役所4階)」新設】 ・区内の生涯学習関連施設の「ちらし」等を配架するなど、他施設の情報も積極的に発信 【町会掲示板への「ちらし」掲示】 ・掲示を見た淀川区へ転入間もない方が「学校図書館ボランティア講座」に参加したことがきっかけとなり、現在、新たな担い手として活躍している	
	<<2020年度の取り組み予定>> ■区役所と生涯学習に関連する諸団体との関係強化を図り、区役所の「生涯学習データベース」としての機能強化をめざす ・区版の生涯学習ポータルサイト化に取り組む	
	② ニーズの多い紙媒体の広報の有効活用を図るため、生涯学習関係の情報を集約した情報誌の発行	
	<<2018年12月以降の取り組み実績>> 【「生涯学習施設ガイドブック」作成】 ・区内生涯学習関連施設と区役所で配架、区ホームページにも掲載(2019年2月) 【「淀川区生涯学習関連施設情報紙」創刊】 ・生涯学習関連施設のタイムリーなイベント等を掲載(2019年11月)	●区民アンケートで、生涯学習に関する必要な情報が得られる又は届いていると感じる区民の割合 : 70%以上
	③ 生涯学習に興味のある方むけのニーズに沿う体験会や視察の実施と情報発信	
	<<2018年12月以降の取り組み実績>> 【生涯学習ルーム講座をレポート】 ・生涯学習の魅力レポートとして区ホームページに公開(通年、2019年度2講座) 【児童・生徒の体力づくり支援事業から生涯学習へ】 ・現在、児童生徒の体力づくりプログラムの一つである「無料ダンス教室」を視察し、そのレポートを区ホームページで紹介することにより、体力づくりプログラムだけに止まらない生涯学習としての利用を提案(2019年11月)	現状 2018年度: 50.1% 2019年度: 集計中
	④ ターゲット層を明確にした戦略的な広報	
	<<2018年12月以降の取り組み実績>> 【「生涯学習情報コーナー」新設】 ・市民協働課前のカウンターを展示風にレイアウト変更(2019年2月) ・配架情報の充実(生涯学習ルーム講座一覧、ポップつけ)(2019年6月～) 【「広報力アップ講座」開催】 ・生涯学習推進員等担い手を対象とした「伝わるチラシ作成」研修会(2019年12月)	
<<2020年度の取り組み予定>> 上記②③④共通 ■区民アンケート(R2.1)結果等から現状の活用状況や効果を分析も踏まえ、次の視点から新たな取り組みにチャレンジする ①より効果的な紙面づくり ②従来の分野・範囲を越えた事業展開 ③より効率的な配布先、配布方法の検討		

柱3 市民力を育む生涯学習の推進

<<取組方針>> ★生涯学習の担い手確保や人材育成の取組を拡充する		【目標(2020年度末)】
①集客力のあるイベント(防災・読書等)も活用した、生涯学習に自然と触れられる機会の創出		
柱3 市民力を育む生涯学習の推進	<<2018年12月以降の取組実績>> 【絵本展 ものがたりのちから】 来場した多くの区民に、区の生涯学習全般の情報を「ちらし」や「展示」によりアピールするなど生涯学習に触れ合う機会を創出する	●新たな担い手発掘につながる、生涯学習のイベント等の参加者を2017年度に対して5%増やす 現状: 2017年度:511人 2018年度:612人(19%増)
	<<2020年度の取組み予定>> ■日ごろ生涯学習に関わりの浅い方なども含め多くの住人が参加する地域のイベント等に生涯学習に関する「ちらし」等を掲示・配布・配架することを通して、生涯学習に対する認知度向上に努める	
②新たな担い手の発掘 及び 生涯学習のスキルアップにつながる機会の提供		●生涯学習の担い手に対するアンケートで、生涯学習を通じて地域課題の解決につながるような取組ができたと感じる方の割合 :70%以上
	<<2018年12月以降の取組実績>> 【学校図書館ボランティア講座】 ・講座の中で、牛乳パックから「面展台」をつくることを通じて、身近なものを活用しながら魅力的な図書館づくりができることを伝えた 【「広報力アップ講座」研修会】 ・「魅力伝わるチラシ作成」のため、生涯学習推進員等ボランティアを対象とした研修会(講師:スリーエムデザイン 山本氏)を開催(2019年12月)【再掲】	現状: 2020年度:88%
	<<2020年度の取組み予定>> ■将来の担い手になることを期待して、身近な様々な生涯学習のイベントへの参加を通してその楽しさや、やりがいを感じてもらおう ・担い手の要望に沿った研修の実施	
③事務負担のさらなる軽減による担い手の確保		
	<<2018年12月以降の取組実績>> 【事務負担軽減のための取組み】 ・毎年担当者が替わることの多い学校体育施設開放事業について、事務引継ぎの負担軽減のため「新たにご担当になられた皆さまへ」資料を配布(2019年2月) ・生涯学習三事業の担い手(会計担当者や実際に買い物に行かれる方)に向けて、「領収書のとりかたシート」を送付し、負担軽減をはかった(2019年6月)	
	<<2020年度の取組み予定>> ■更なる事務負担軽減をめざして、現場の声に耳を傾けるとともに事務処理内容を精査していく	

柱4 「ひと」「まち」「まなび」をつなぐ多様なネットワークづくり

柱4ひと、まち、まなびをつなぐ多様なネットワークづくり	<<取組方針>> ★生涯学習という「まなび」を通じて得られた「ひととのつながり」や「まちの魅力」といった区民の財産を社会全体に還元・循環させていく		【目標(2020年度末)】
	①既存の活動団体・個人にとどまらず、新たに参入を希望する団体・個人についてのネットワーク化		●新たな連携に向けたプロジェクトを2件以上立ち上げる 現状: 2019年度に工業高校へ連携を提案したところ、了承頂いたため、現在具体化に向け計画
	<<2018年12月以降の取組み実績>> 【専門学校等との連携】 ・地域イベントへの参加など連携に向けた関係づくり(2019年3月 西中島地域「春まつり」) ・東淀工業高校へ生涯学習との連携を働きかけ(2019年10月)		
	<<2020年度の取組み予定>> ・工業高校への「ものづくり体験講座」実施等の具体的な提案		
	②現行事業や各種イベント等を活用して、その場にいる人々や団体が交流し、新たな事業を創出するためのきっかけづくりの場への発展		
	<<2018年12月以降の取組み実績>> 【講演会】 ・生涯学習の担い手(ルーム、はぐくみ、学体、生涯学習推進員)を対象とした講演会「生涯学習の輪を広げる工夫～地域の人々の巻き込み方～」(講師: 柏木登起氏)を開催(2018年12月)		
	<<2020年度の取組み予定>> ・老人クラブ連合会の生涯学習イベント等との連携や参入等を模索		
	③産学官連携など、これまでつながりが薄かった分野間での連携へのチャレンジ		
	<<2018年12月以降の取組み実績>> 【スポーツ推進員との連携事業】 ・スポーツ体験DAYに、「スリーアイズ」や「ポッチャ」などのニュースポーツを参加者に体験してもらう(2019年2月) 【連携のための交流会開催経費を負担できる仕組み構築】 ・上記講演も踏まえ、ネットワーク化や連携を目的とした交流促進のため、新たに生涯学習ルームの委託料で交流会を開催できるように制度を改めた		
	<<2020年度の取組み予定>> ・区内専門学校等との連携を模索		

【用語説明】

- ・生涯学習ルーム事業: 小学校の特別教室等を活用して、文化活動や身近な講座を開催するなど生涯学習を推進するもの。
- ・はぐくみネット事業: 学校・家庭・地域が一体となって子どもたちが生きる力をはぐくむための教育コミュニティづくりを推進するもの。
- ・学校体育施設開放事業: 小中学校の体育施設を利用して、スポーツ活動の場や機会を提供するもの。
- ・市民力: 地域での困ったことなどを、周りの人たちと協力しながら、自分たちの力で解決していける力、また、新しいことにチャレンジする力のこと